



36号 令和3年10月18日

<学校教育目標>

ともに伸びる

校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



創立144周年 おめでとう！

本日、阿賀小学校創立144周年記念式をリモートにより行いました。私から子供達には次のような話をしました。

今日10月18日で、この阿賀小学校は144歳を迎えます。呉の中でも最も古い歴史のある小学校の1つです。その誕生日、つまり創立記念日を皆さんとともに、今日は心からお祝いしたいと思います。

さて、せっかくの機会ですから、本校のことについて、クイズで振り返ってみたいと思います。クイズは全部で5問、果たして何問正解できるでしょうか。

第1問。阿賀小学校が144歳であることを記したものが体育館の近くににあります。それは次の3つのうちどれでしょう（写真を見せる）。正解は1番です。そこには、「本校創立 明治10年10月18日」と記されています。ちなみに、2番は「二宮尊徳」の像。子供の時の名前は、「二宮金次郎」です。今から約80年前の1942（昭和17）年に地域の方から寄贈されたものです。一生懸命勉強し、家の手伝いもよくする模範的な子供の姿を表すものでした。3番は阿賀の地名の由来が記されているものです。

第2問。阿賀小学校ができた144年前、世界ではどんな人たちが活躍していたのでしょうか。1番、トーマス・エジソン。2番、織田信長。3番、マザーテレサ。正解は1番のトーマス・エジソンです。アメリカの発明家トーマス・エジソンは、阿賀小ができたちょうどその年に、蓄音機という、今でいうCDプレーヤーの元祖みたいな機械を世に発表しました。

第3問。阿賀小学校は、できてから144年間、ずっと今の場所にある。○か×か。正解は×です。初めは「小倉新開」にありました。今の阿賀の藤三の近くでしょうか。そこに約20年間ありました。その後、今の「阿賀中央公園」のところに移って約100年間。そして、現在の場所に阿賀小が移ってから21年間です。

第4問。阿賀小の現在の児童数は540人ですが、いちばん多いときには何人いたでしょうか。1番、約1,000人。2番、約1,500人。3番、約2,500人。正解は3番の約2,500人です。1943（昭和18）年。戦争が激しくなる直前のころのことです。クラスは全部で46学級もありました。1学年7～8学級ということになります。

第5問。阿賀小が今の場所に移ってから他の学校といっしょになりました。いっしょになったのは全部で3校である。○か×か。正解は○です。2001年に延崎小学校、2009年に長郷小学校、2010年に大入小学校、合計3校といっしょになりました。ちなみに、原小も1947（昭和22）年、戦後すぐまでは、ずっと阿賀小でした。どうでしたか？全問正解できたでしょうか？

さて、ここで私が阿賀小学校に通っていた子供のころの思い出話を昨年度のくり返しにはなりますが、少ししたいと思います。私が本校に入学したのは、今からちょうど51年前、1970年のことでした。この年からJR呉線が走り始めました。それまでは、黒い煙をもくもくはく蒸気機関車が走っていました。トンネルに入る前に必ず汽笛がなります。汽笛が鳴ると必ず窓を閉めなければなりません。そうでないと、窓から煙が入ってくるからです。6年生になった年は、広島カーブが初優勝した年でした。優勝が決まる日。昼下がりの授業中、「もう、試合が始まるところじゃ。」そう思うと、そわそわ、そわそわ。6時間目が終わった途端、担任の先生がテレビのスイッチを入れ、笑顔で「見んさい。見たかったんじゃろうがね。」厳しい先生でした。松浦先生という女性のベテランの先生でした。叱られたときは震え上がるように恐ろしい先生でした。その先生が、まさか、そこまでしてくれるとは・・・。「よっしゃ！」「やったー！」学級の中は大盛り上がり！その日の夕方、カーブは初優勝を決めて、阿賀のまちも大盛り上がり。当時、学校のそばにあった商店街は、優勝セールで大賑わいでした。

小学生のころの私は、お世辞にもよい子とは到底言えない、ちょろちょろ落ち着かないやんちゃな子供。先生から怒られない日がないくらい。ほめられた記憶もほとんどありません。

5年生になって、担任はあの松浦先生。最初にかけられた言葉は、「前の先生から聞いたとよ。」その一言でした。「やばい！」と思いました。「どうせ、良くは思われていない。」「また、怒られる日々が続くのか。」そう思いました。しかし、何だか様子がちがう。そんなことで褒められたこともないことまでほめてくれる。それにとどまらず、どうして、そんなことまで先生は知っているかというこまで、探し出して、見つけ出して、私のことをほめてくれるのです。もちろん、厳しく叱られることもありましたが、どんなときでも私の言い分も必ず聞いてくださって、頭ごなしに叱ることは決してしない先生でした。そんな接し方をしてくださる先生を困らせてはいけません。心の底からそう思うようになりました。そのときから、自分でも生まれ変わったような気がします。そんな先生との出会いがこの阿賀小であったことは、私にとっては決して忘れることのできないものです。

阿賀小にいたからこそ、出会えた先生、友達、地域の方々。阿賀小にいたからこそ、学ばせていただいた数多くのこと。そのおかげで、今の自分がある。そして、そのことが将来の自分につながっている。阿賀っ子の皆さんにも、今日の創立記念の日に、改めて、このようなことを思いながら、これまで受け継がれてきた阿賀小144年間の伝統をしっかりと引き継ぎ、それをさらにこれからも末永く伝え続けていってほしいと思います。「阿賀小学校創立144周年、本当におめでとうございます！」